

様式第 8

(下水道法施行規則第十条関係)

特定施設の構造等変更届出書

年 月 日

(あて先)

高崎市上下水道事業管理者

申請者

住 所

電話番号

氏名又は名称及び

法人にあっては

その代表者の氏名

下水道法第 12 条の 4 の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類		※ 施 設 番 号	
△ 特定施設の構造（特定施設の使用方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統）	別 紙 の と お り 。	※ 審 査 結 果	
		※ 備 考	

備考

- 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

特 定 施 設 の 構 造

施 設 名 (特定施設番号)			
型 式			
構 造	材 質		
	形 状		
	主 寸 法 要 法		
能 力			
主 要 機 器 又 は 主 要 装 置 の 配 置		別図 のとおり	
新設変更の着手予定		年 月 日	年 月 日
完 成 予 定		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定		年 月 日	年 月 日
そ の 他 参 考 事 項			

備考 構造、主要寸法及び主要機械又は主要装置の配置の欄の記載については、詳細な図面を利用して、その概要を明記すること。

特定施設の使用の方法

施設名		
設置場所		
操業系統		
1日の使用時間		
使用の季節的 変動の概要		
原材料の種類 使用の方法 および量		
廃液の分離方法		
使用時の汚水量 および水質		
その他の記載事項		

備考 使用時の汚水量および水量の欄の記載については、別紙によることとし、
操業系統の図面とかねて記入してもよい。

汚水等の処理の方法

処 理 施 設 名		
汚水処理施設の設置場所		
着 工 予 定 年 月 日		
完 成 予 定 年 月 日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		
汚水処理施設の種類、型式、構造、能力および処理の方法		
汚 水 等 の 処 理 系 統		
汚水等の集水および導入方法		
汚水処理施設の使用時間およびその季節的変動の概要		
汚水等の処理に要する消費材料の1日当たりの用途別使用量		
処理前後の水量および水質		
残渣の量およびその処理方法		
排 除 場 所		
そ の 他 の 記 載 事 項		

- 備考 1. 汚水等の集水および導入方法の欄の記載については、別紙によることとし、特定施設から汚水処理施設に至る導水路ならびに工場内の排水系路を明らかにすること。
2. 処理前後の水量および水質の欄の記載については、別図によることとし、汚水等の集水および導入方法の欄の図面に記入してもよい。
3. 汚水処理施設の設置場所および処理水の排除場所については、別図上でもその位置を示す。

別紙 4

下水の量および水質

項 目	排水口	No.1		No.2				総 合	
	排 水 量	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大
	単 位	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
温 度	℃								
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	m g / l								
水 素 イ オ ン 濃 度	p H								
生 物 化 学 的 酸 素 要 求 量	5日間mg/l								
浮 遊 物 質 量	m g / l								
ノルマルヘキサン抽出物質含有量									
鉱 油 類 含 有 量	m g / l								
動植物油脂類含有量	m g / l								
窒 素 含 有 量	m g / l								
磷 含 有 量	m g / l								
沃 素 消 費 量	m g / l								
カドミウム及びその化合物	m g / l								
シ ア ン 化 合 物	m g / l								
有 機 磷 化 合 物	m g / l								
鉛 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
六 価 ク ロ ム 化 合 物	m g / l								
砒 素 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
水銀及びアルキル水銀その化合物	m g / l								
ア ル キ ル 水 銀 化 合 物	m g / l								
ボ リ 塩 化 ビ フ ェ ニ ル	m g / l								
ト リ ク ロ ロ エ チ レ ン	m g / l								
テ ト ラ ク ロ ロ エ チ レ ン	m g / l								
ジ ク ロ ロ メ タ ン	m g / l								
四 塩 化 炭 素	m g / l								
1 , 2 - ジ ク ロ ロ エ タ ン	m g / l								
1 , 1 - ジ ク ロ ロ エ チ レ ン	m g / l								
シス-1 , 2 - ジ ク ロ ロ エ チ レ ン	m g / l								
1 , 1 , 1 - ト リ ク ロ ロ エ タ ン	m g / l								
1 , 1 , 2 - ト リ ク ロ ロ エ タ ン	m g / l								
1 , 3 - ジ ク ロ ロ プ ロ ペ ン	m g / l								
チ ウ ラ ム	m g / l								
シ マ ジ ン	m g / l								
チ オ ベ ン カ ル ブ	m g / l								
ベ ン ゼ ン	m g / l								
セ レ ン 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
ほう 素 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
ふっ 素 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
フ ェ ノ ー ル 類	m g / l								
銅 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
亜 鉛 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
鉄 及 び そ の 化 合 物 (溶解性)	m g / l								
マンガン及びその化合物(溶解性)	m g / l								
ク ロ ム 及 び そ の 化 合 物	m g / l								
ダ イ オ キ シ ン 類	p g / l								
※									
摘 要									

注) 測定をする項目については、使用材料、使用量、設備工程等から判断し、排出する可能性のある物質について記入すること。

所在地（案内図）

配置図

操業系統図

汚水の処理の系統図

用水及び排水の系統